

所 管	まちづくり企画部交流連携課		
担 当	田村	問い合わせ	0573-26-2114

報 道 機 関 各位

ポーランドパビリオン木組の意匠移設事業について

恵那市とポーランド共和国は、ホストタウン事業を契機に、これまでさまざまな交流事業を行ってきました。この度、ポーランド共和国との交流の証として2025年日本国際博覧会でのポーランドパビリオンの一部である木組の意匠の寄贈を受けることになりました。市内に移設展示し、市民や来訪者が気軽に鑑賞できる環境を整備します。

記

1. 経緯

ポーランドパビリオンのレガシーを地域に残し、意匠を通じて世界的なデザインに触れる機会を創出するとともに、ポーランドとの友好関係を広く発信することにより、子ども達の国際理解と多文化共生意識の育成につながることから、関係者との協議を重ね、実現に至りました。このポーランドパビリオンの壁面を飾る象徴的な木組の意匠は、博覧会国際事務局が主催し、2025年日本国際博覧会に参加した国・地域の優れたパビリオンを表彰する式典で、展示デザイン部門の金賞を受賞しました。

なお、展示開始時には、駐日ポーランド共和国大使を始めポーランド投資貿易庁の関係者を招いた式典の開催を計画しています。

2. 移設場所

ポーランドカヌーチーム合宿地に隣接する恵那北中学校と恵那市役所本庁舎1階エントランスの2カ所に設置予定。

3. 移設展示開始時期 令和8年3月予定

4. 予算措置 16,000千円（市民のまちづくり基金繰入金）

5. 事業実施主体 岐阜県ポーランド交流協会



市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和7年11月10日

ポーランドパビリオン（外観）



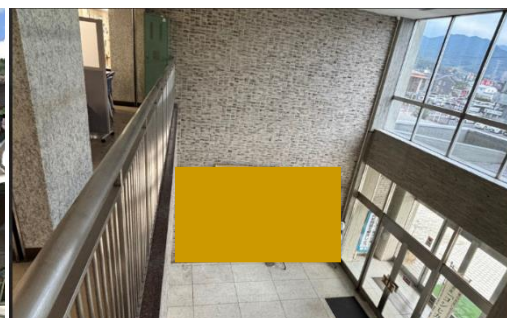
パビリオン内の寄贈対象の壁面意匠



設置場所（案）



恵那北中学校



恵那市役所本庁舎